

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 9 3 号
件 名	より実効性のあるBRT連節バスの専用レーンと島式ホームの社会実験を求めることについて
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は約1兆円の借金を抱える赤字倒産一步手前の財政状態になっています。</p> <p>1兆円の借金は、毎年100億円返しても100年もかかる莫大な金額です。80万市民1人当たり125万円もの借金です。</p> <p>この財政状況において、現在新潟市が進めている新潟駅前東大通でのBRT連節バスの専用レーンと島式ホームを設置する社会実験は、設置する島式ホームにデータとなるべき何人の乗客が乗りおりするのか、市民から理解を得られないようなちっぽけで必要なデータも得られないような計画であり、このような社会実験は税金の無駄遣いとなる計画で中止すべきです。</p> <p>どうしても社会実験をするならば、新潟駅から万代シティまで専用レーンと東大通と万代シティに島式ホームを設置して、</p> <p>①専用レーンと島式ホームが本当に必要なのか。</p> <p>②新潟駅から万代シティまで何分の所要時間の短縮ができるのか。この短縮時間を莫大な税金を使ってまでも市民が求めているのか。</p> <p>③乗客数が連節バスを必要とする人数なのか。</p> <p>④連節バスを使わず普通バスの運行だと同じ効果が期待できないのか。</p> <p>⑤費用対効果はどうなのか。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	平成28年9月9日 環境建設常任委員会
受 理	平成28年9月6日 第321号

陳情第93号

などを万代シテイ周辺に来る多くの市民に見てもらい評価してもらおうスケールの大きな計画が必要です。それに、社会実験の時期は現在の計画で予定されている11月の10日間でなく、例年の日暮れが早く年末交通混雑時期や冬の積雪、路面凍結状態のときに行うことにより、見せかけでない本当の社会実験になり、そのため社会実験の期間が長くなります。

よって、社会実験の内容、時期、場所を再検討してより実効性のあるBRT連節バスの専用レーンと島式ホームの社会実験を求め陳情します。